

2022年9月7日

年代が上がるほどマスクあり/なしで“見た目年齢ギャップ”大 自信が持てる「ほうれい線対策メイク」を提案

花王株式会社 ビューティリサーチ&クリエイションセンター（以下 BRCC）は、見た目年齢とほうれい線に関する調査を行い、マスク着用あり/なしで見た目年齢にギャップが生じ、年代が上がるほどこのギャップが大きくなることを明らかにしました。この見た目年齢には、小鼻の横から口もとにかけての「ほうれい線」の目立ちが大きく影響していることも確認。調査結果と合わせて、マスクの着脱によって起こりがちな“見た目年齢ギャップ”をなくし、マスクを外しても自信が持てる「ほうれい線対策メイク」をご紹介します。

※ 全ての結果は小数点第二位を四捨五入しています



ほうれい線対策メイクなし



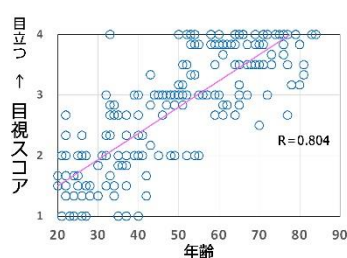
ほうれい線対策メイクあり

*仕上がりイメージ

■ 調査背景

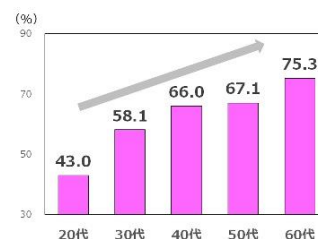
ほうれい線は、しわやたるみなどと同様に、加齢に伴い目立つようになります（図1：花王スキンケア研究所調べ）。実際、花王グループのカネボウ化粧品が販売するカウンセリングブランド「トワニー」の意識調査からも、年代が上がるにつれてほうれい線を気にする人が増えていることがわかります（図2）。また、マスク生活によりほうれい線が隠れた状態を見慣れたことで、マスクを外したときにこれまで以上に自分のほうれい線の目立ちが気になる、という声もよく聞かれます。そこで花王 BRCC は、見た目年齢とほうれい線の関係に着目した調査を行いました。

図1 【年齢とほうれい線の目立ちの関係】



2020年 スキンケア研究所20代~80代女性 n=209

図2 【ほうれい線が気になる人の割合】



2021年11月 「トワニー」Web調査 20代~60代女性 n=2,000

〈調査① マスクあり/なし画像で見た目年齢評価〉

■マスクで“見た目年齢ギャップ”が発生 50代では+5.9歳

まず、20代～50代の一般女性20名（各年代5名）の顔画像にそれぞれマスクを合成し、各画像での見た目年齢を評価しました。続いてマスクのない元の顔画像で、再び見た目年齢を評価。その結果、マスクなしの画像は、ありの画像に比べて、20代ではやや年齢が低く評価され、30代以降では年齢が高く評価されました。さらに、年代が上がるほど、マスクあり/なしでの“見た目年齢ギャップ”が拡大。30代では4.5歳、50代ではなんと5.9歳ものギャップがありました（図3）。

マスクありの画像は、顔の大部分が隠れており、主に目もとの様子で見た目年齢を判断することになります。一方、マスクなしの画像では、隠れていた部分があらわになり、顔全体に目が行きます。その中でも、顔の中心にあり加齢によって目立つようになるほうれい線が、“見た目年齢ギャップ”を生み出しているものと推察されました。

図3【マスク着用のあり/なしによる見た目年齢】



〈調査② ほうれい線が見た目年齢に与える影響を画像検証〉

■ほうれい線の長さや濃さが影響

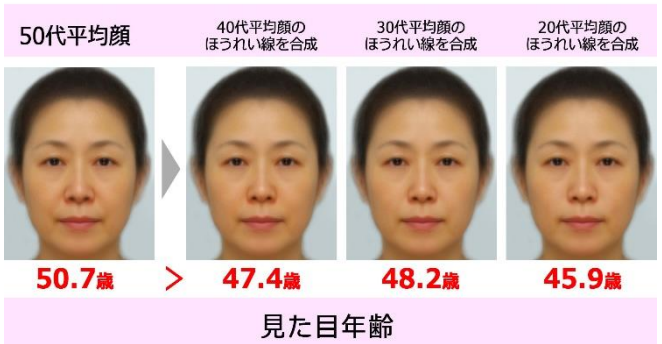
次に、ほうれい線が見た目年齢に与える影響を調査しました。日本人女性の素顔を年代ごとに合成した平均顔画像から、ほうれい線部分を抽出。20代と50代のそれぞれの平均顔に、各年代のほうれい線を合成し、見た目年齢を評価しました。

すると、目もとや肌のハリ感などが若々しい20代の平均顔に、上の年代のほうれい線を合成するだけで老けて見えることが判明（図4）。また、目もとや口もと、フェイスラインなどにたるみが見られる50代の平均顔に、下の年代のほうれい線を合成するだけで、見た目年齢が若く評価されました（図5）。これにより、ほうれい線の長さや濃さなどの状態が見た目年齢に影響を与えることが確認できました。

図4【ほうれい線合成画像（20代平均顔）の見た目年齢】



図5【ほうれい線合成画像（50代平均顔）の見た目年齢】



調査①②ともに、2022年6月 普段から女性の顔を観察している花王 BRCCの専門評価者14名が評価

〈マスク着脱による“見た目年齢ギャップ”をなくす ほうれい線対策メイク〉

ほうれい線は、小鼻の横から唇の横に向かってのびるしわですが、頬のふくらみや加齢によって生じる肌のたるみによってこの部分に影ができると、より目立つようになります。

ここからは、マスクを外したときに気になりがちなほうれい線を目立たなくするための、メイクアップアーティストのテクニックをご紹介します。



ほうれい線対策メイクなし

ほうれい線対策メイクあり

*仕上げイメージ

■テクニック① コンシーラーでほうれい線と影をカバー

ほうれい線部分に、やや明るめの色のコンシーラーを少量のせます。筆ペンタイプやコンシーラーブラシの使用が便利です。指先でほうれい線の外側（頬）に向かって、暗く影に見えるごく狭い範囲にコンシーラーをなじませましょう。溝に溜まらないように、軽く丁寧にトントンと。せっかくコンシーラーをつけても、なじませる範囲が広すぎたり、ほうれい線の内側（口もと）に向かってなじませたりすると、ほうれい線を目立たなくするメイク効果が薄れてしまうので注意しましょう。



ほうれい線にのせたコンシーラーを、外側に向かってなじませる。影に見える部分のみ明るくなるように、なじませる範囲を広げすぎない。



コンシーラー未使用



コンシーラー使用

*仕上げイメージ

■テクニック② コンシーラーで小鼻の赤みや影をカバー

小鼻の横の赤みや影が、ほうれい線を余計に目立たせている場合があります。このようなときには、小鼻の横を明るく整えるのがおすすめ。明るめの色のコンシーラーを、小鼻を囲むように三日月型にのせ、指先で軽く押さえるようにしてなじませます。塗りにくいときは小鼻を少し倒すようにしてキワの部分につけるようにしましょう。



コンシーラーは三日月型に。赤みや影を消すように指先でトントンと軽くなじませる。



コンシーラー未使用



コンシーラー使用

*仕上げイメージ

■テクニック③ チークで頬のたるみを目立たせない

チークの入れ方によっても、ほうれい線の目立ちをカムフラージュすることができます。一般的に、小鼻より下までチークを入ると頬が下がってたるんだように見え、ほうれい線も目立ちやすくなります。頬骨のあたりを中心に、小鼻より上の範囲に色をのせるようにするのがおすすめです。



チークを入れる範囲



○ 小鼻より上：ほうれい線が目立ちにくい

△ 小鼻より下：頬が下がって見え、ほうれい線も目立つ

*仕上げイメージ

■テクニック④ ほうれい線の横の肌を物理的に引っ張る

塗膜の収縮により肌を引っ張り、ほうれい線を目立ちにくくする化粧下地もあります。

トワニー ドラマティックメモリー（2022年9月10日発売）

https://www.kanebo-cosmetics.jp/twany/lineup/special/220701_dramaticmemory/



【美容の情報はこちら】

Kao Beauty Brands のサイトでは、メイクやスキンケアなどに関する美容情報を公開しています。

<https://www.kaobeautybrands.com/jp/beauty-station/advice/>

【花王 ビューティリサーチ&クリエイションセンターについて】

花王 化粧品事業部門の中で、科学的エビデンスや生活者リサーチ、美容トレンドに基づき、Kao Beauty Brands の全ブランドの基礎となる美容情報や技術を開発。Kao Beauty Brands のサイトにおいて、美容の情報も監修しています。